



## ケアマネジャーのお仕事サポート

テーマ

### 「適切なケアマネジメント手法」実践研修での「あるある」 ～意思決定課程の支援～

今回は、「意思決定の支援」について一緒に考えましょう。ケアプラン面接点検をしていてケアプラン「1表」に本人の意向として「このままの生活でよい」という記載が多く見られます。実践研修事例でも多く見られます。



基本ケア -項目-

15、16、17、18、19



私から質問です。「このままの生活って」具体的に教えてください。

「……………」「具体的に聞いたことないです」



そんな時、あなたならどのように「本人の意向」を確認しますか。どのように質問をしますか？

### 【基本ケア15番から19番に使えるチェックシート】

そこで役に立つのが「興味・関心チェックシート」(著作権一般社団法人日本作業療法士協会に帰属) 46項目を「している」「してみたい」「興味がある」このシートを本人と確認していくと本人の意向を確認することができます。また過去にどのような趣味、どのようなスポーツをやっていたか。この質問項目から「何を食べたいか。」まで話が展開していきます。



### 実践研修でこのようなことがありました！

95歳女性 有料老人ホームに入居中。

「興味・関心チェックシート」を活用実践して、「料理を作る」「自分で食べる」から「何を食べたい」→「甘いもの食べたい」→甘いものが好きなことわかりました。

ケアマネジャーが家族(息子)に「次回面会時“甘いもの”を持ってきてもらえますか」と連絡。

息子「わかりました」と、面会時におはぎを作って持ってきました。

息子夫婦が「母親、昔からおはぎ好きだったんで作ってきました」

本人が大変喜んでくれてケアマネジャーと会うたびに何でも答えてくれるようになった。

相性の合わなかったご利用者様の「本人の意向を確認することができるようになった」と

担当ケアマネジャーから報告を受けました。

## 活用のコツ

このチェックシートを活用するとき拡大コピーをしてご利用者様と一緒に見ながら確認すること。また、ご利用者様の負担を考慮して一気に確認せず今日はここまでと決めて確認することもうまく活用するコツと思います。

### 興味・関心チェックシート

氏名： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 歳 性別（男・女） 記入日： H \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

表の生活行為について、現在しているものには「している」の列に、現在していないがしてみたいものには「してみたい」の列に、する・しない、できる・できないにかかわらず、興味があるものには「興味がある」の列に○を付けてください。どれにも該当しないものは「している」の列に×をつけてください。リスト以外の生活行為に思いあたるものがあれば、空欄を利用して記載してください。

生活行為	している	してみたい	興味がある	生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く				生涯学習・歴史			
一人でお風呂に入る				読書			
自分で服を着る				俳句			
自分で食べる				書道・習字			
歯磨きをする				絵を描く・絵手紙			
身だしなみを整える				パソコン・ワープロ			
好きなときに眠る				写真			
掃除・整理整頓				映画・観劇・演奏会			
料理を作る				お茶・お花			
買い物				歌を歌う・カラオケ			
家や庭の手入れ・世話				音楽を聴く・楽器演奏			
洗濯・洗濯物たたみ				将棋・囲碁・ゲーム			
自転車・車の運転				体操・運動			
電車・バスでの外出				散歩			
孫・子供の世話				ゴルフ・グランドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ			
動物の世話				ダンス・踊り			
友達とおしゃべり・遊ぶ				野球・相撲観戦			
家族・親戚との団らん				競馬・競輪・競艇・パチンコ			
デート・異性との交流				編み物			
居酒屋に行く				針仕事			
ボランティア				畑仕事			
地域活動 (町内会・老人クラブ)				賃金を伴う仕事			
お参り・宗教活動				旅行・温泉			

生活行為向上マネジメント™

本シートの著作権（著作人格権、著作財産権）は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しており、本シートの全部又は一部の無断使用、複製・複製、転載、記録媒体への入力、内容の変更等は著作権法上の例外を除いて禁じます。

執筆者

**木村隆次** きむらりゅうじ

薬剤師

介護支援専門員

介護支援専門員指導者一期生

医療・介護連携協働をライフワークに活動中。大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務した後、青森市内で薬局を開局。薬剤師として居宅訪問をしていた際、福祉用具と住宅改修に興味をもち没頭。介護支援専門員指導者の一期生。2000年4月から13年間日本薬剤師会常務理事、2010年から2022年まで青森県薬剤師会会長を務めた。2005年11月から日本介護支援専門員協会会長（初代）として厚生労働大臣の諮問機関で介護報酬や介護保険制度を議論する分科会・部会の委員を歴任。現在は、青森県介護支援専門員協会会長として自立支援型ケアマネジメントの普及のため後進へ情報発信し育成に努めている。

